

■ 「薬と健康の週間」 のイベント開催

平成26年10月25日（土）、26日（日）の2日間、宇都宮市内の「ベルモール1階カリヨンプラザ」において「薬と健康の週間」の関連行事として、「お薬相談・展示会」が開催されました。

会場では、薬剤師によるお薬相談、ちびっ子調剤体験、血流測定コーナー、健康に役立つパネル展示、生活習慣病に関するパンフレット配布、アンケート調査などを行いました。

このイベントは、栃木県、栃木県薬剤師会、栃木県病院薬剤師会などが主催するもので、薬事工業会も平成22年度から主催者の一員として参加しております。

薬事工業会のブースでは、栃木県が全国有数の医薬品や医療機器の生産県であることをPRするポスターや「薬ができるまで」のポスターを展示し、また、栃葉工だよりを掲示して薬事工業会のPRを行った他、薬と健康に関するパンフレットを配布しました。

そして毎年恒例の、お子さん向けの風船（パンチボールやアートバルーン）の配布も行いました。

アートバルーンについては、小野塚副会長の監修のもと、年々精度・グレードともにアップし、「うさぎちゃん」、「ワンちゃん」、「剣」・・などを次々と生み出し、子供連れのファミリーに大好評でした。

両日あわせて約2,500名の方にお立ち寄りいただき、大きな啓発効果を上げることができました。

薬事工業会のブースのお手伝いや、アンケート回答者への記念品や啓発用パンフレット等を提供いただきました会員各社の皆様に心から感謝申し上げます。

来年度も開催しますので、是非お立ち寄りください。



栃木県薬事工業会創立40周年記念大会

昭和49年に設立した当会は、平成26年に創立40周年を迎えたことから、平成26年11月19日（水）、ホテル東日本宇都宮を会場として、創立40周年記念大会を開催しました。記念式典・講演会には124名、祝賀会には109名が参加されました。

大会プログラムは次のとおりです。

栃木県薬事工業会創立40周年記念大会 プログラム

I 記念式典 [14:30～15:15, 大和（東）]

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 来賓祝辞（栃木県知事 福田 富一様）
- 4 表彰式
 - (1) 知事表彰 薬事衛生優良施設（5社）
 - (2) 会長表彰 優良従業員（29名）
- 5 記念事業
「とちぎ安心医療基金」への寄附
- 6 閉会

II 記念講演 [15:30～17:00, 大和（東）]

- 【講演1】(15:30～16:00)
「元気度日本一栃木県を目指して」
栃木県知事 福田 富一 様
- 【講演2】(16:00～17:00)
「医薬品等の製造における品質・
生産性向上にむけた新しい挑戦」
東京大学大学院工学系研究科
化学システム工学専攻准教授 杉山 弘和 様

III 祝賀会 [17:20～, 大和（西）]

I 記念式典

○第I部の記念式典では、松谷会長のあいさつ、福田知事様の祝辞に続いて、表彰式が行われました。表彰式では、知事表彰として薬事衛生優良施設5社と、会長表彰として優良従業員29名の方（下記表彰者一覧のとおり）が表彰を受け、表彰後に東芝メディカルシステムズ（株）の畠中様から代表謝辞がありました。

続く記念事業では、当会から「とちぎ安心医療基金」への寄附が行われ、松谷会長から福田知事様に目録が手渡されました。福田知事様からは、松谷会長に感謝状が授与されました。（※「とちぎ安心医療基金」：県民が安心して暮らすことのできる地域社会の実現に資するため、平成23年4月に設置。基金は、市町村が行うドクターヘリランデブーポイントの舗装等整備への補助や、救急医療機関が行う設備整備への補助などの事業に活用されています。）



～知事表彰～

薬事衛生優良施設（敬称略）

施設名	所在地
東芝メディカルシステムズ株式会社	大田原市
花王株式会社 栃木工場	市貝町
持田製薬工場株式会社	大田原市
株式会社シーボン 生産センター	上三川町
株式会社ナカニシ	鹿沼市



優良従業員表彰受賞者一覧（敬称略）

勤続30年以上	勤続20年以上	勤続10年以上
持田製薬工場(株) 小長谷 進 持田製薬工場(株) 池ヶ谷 昇 シミック CMF 足利(株) 渡辺 章重 栄研化学(株) 上竹 節 HOYA Technosurgical(株) 磯 浩子 マニー(株) 見目 由美子 マニー(株) 赤塚 正雄 不二ラテックス(株) 小倉 芳則	シミック CMF 足利(株) 尾崎 和彦 グラクソ・スミスクライン(株) 北條 町子 (株)シーポン 古川 美智子 ジェーピーエス(株) 五味潤 善雄 ジェーピーエス(株) 細野 健寿 中外製薬工業(株) 妙圓園 由香 中外製薬工業(株) 小野 孝宏 マニー(株) 水井 雅人 マニー(株) 光田 和子 ジェーピーエス(株) 田村 真 富士フィルムオブティクス(株) 植木 康弘	(株)タスク 熊倉 孝夫 (株)タスク 片岡 万里 グラクソ・スミスクライン(株) 菊池 裕美 (株)タスク CARINO MARIO CORPUZ HOYA Technosurgical(株) 工藤 孝敏 (株)カナエ 園部 正 (株)カナエ 隅内 哲男 マニー(株) 鈴木 大介 マニー(株) 豊田 昌弘 (株)シーポン 松嶋 高志

II 記念講演

○第Ⅱ部の記念講演では、福田知事様からの講演「元気度日本一栃木県を目指して」と、東京大学の杉山弘和先生からの講演「医薬品等の製造における品質・生産性向上向けた新しい挑戦」がありました。

【講演1】「元気度日本一栃木県を目指して」

講師 栃木県知事 福田富一様

福田知事様からは、栃木県政全般について、最近の話題や課題と今後の展望などについて、ウイットに富んだ御講演をいただきました。また、本県の救急医療の現状や、医薬品や医療機器の生産額や全国順位等についてもお話し下さいました。

【講演2】「医薬品等の製造における品質・生産性向上向けた新しい挑戦」

講師 東京大学大学院工学系研究科 化学システム工学専攻

准教授 杉山 弘和様

杉山先生からは、医薬品産業において、製造プロセスの品質・生産性向上は喫緊の課題となっていること、その一方で、GMP基準を満たしながら優れた製造プロセスを実現していくための手法や仕組みの整備はこれからであり、新しい研究分野として位置づけることができること、その上で、製造プロセスを継続的に改善するための業務モデルと、注射剤製造におけるケーススタディを御紹介いただきながら、医薬品産業を対象とした新しい研究に係る展望について分かりやすくお話し下さいました。

医薬品のみならず、会員各業種に大変参考となる貴重な御講演を頂きました。

【講師紹介】杉山 弘和先生

2001年 東京大学工学部
化学システム工学科卒業

2003年 東京大学大学院工学系研究科
化学システム工学専攻修士課程修了

2007年 スイス連邦工科大学チューリッヒ校
(ETH Zurich) にて博士号を取得。

2007年 ロシュ（スイス）に入社。

注射剤製造新工場の立ち上げ及び改善、
プレフィルド・シリンジの実生産等に
携わる。

2013年 東京大学大学院工学系研究科
化学システム工学専攻准教授に就任。

医薬品製造プロセスの品質・生産性向
上に関する研究に着手する。
専門は、化学工学、プロセスシステム
工学

III 祝賀会

○第Ⅲ部の祝賀会は、栃木県保健福祉部長の名越 究様を始めとする御来賓の皆様の御臨席のもと開催し、会員一同、創立40周年を大いに祝い、とても和やかなムードの中、当会のこれまでと、そしてこれからなどについて、話は尽きませんでした。



大会あいさつ
松谷会長

大会祝辞
福田知事様

表彰者記念撮影



記念事業
「とちぎ安心医療基金への寄附」

記念講演 1
福田知事様

記念講演 2
杉山先生



記念式典の様子

祝賀会祝辞
名越部長様

祝賀会の様子

■第20回栃木県GMP関連研修会

第20回栃木県GMP関連研修会を、平成27年1月29日（木）、ホテル東日本宇都宮において、栃木県との共催により開催しました。

本研修会は、平成8年1月に第1回が開催されて以来、毎回多数の参加者があり、今回も、県外からも含めて約170名の参加者がありました。

研修会は小野塚副会長の司会で開会し、松谷会長と高山薬務課長の挨拶の後、阿部副会長が座長となり、会員からの日頃の取組事例や研究成果についての発表及び、行政からの発表がありました。



【阿部座長】

● 演題1

東芝メディカルシステムズ株式会社の市川敏夫様から、「医療機器のリスクマネジメント（画像診断装置における事例）」と題して発表がありました。リスクマネジメントを行うまでの、製品特質の明確化、ハザードの特定方法、リスク評価の方法及びリスクコントロールの方法について、わかりやすく御説明いただきました。また、X線装置・CT装置・生化学分析装置の開発段階における具体的リスクマネジメント事例（電気・機械・ソフトウェア・ユーザビリティ）を御紹介いただきながら、その課題対応方針等について解説いただきました。

そして、製品安全の確保のためには、欠陥のない製品の開発とともに、適切な使用方法や保守に係る情報提供が重要であると締めくくられ、医療機器に限らず、他の薬事関連製品全般のリスクマネジメントにも共通する貴重な発表をいただきました。



【市川様】

● 演題2

株式会社ナカニシの高橋正典様から、「医療機器メーカーとしてのモノづくり基本取り組み」と題して発表がありました。同社における品質に係る様々な取組みと、その一環でもある品質のコスト管理（Fコスト）について御紹介いただきました。同社で毎日実施している品質進捗報告会や品証メンバーによる社内工程監査、それらを踏まえた週ごとの潜在不適合検討会や月ごとの品質月次報告会の開催、そして様々な勉強会も積極的に実施していることなどをお話しいただきました。また、品質情報と共に、Fコスト（Failure Cost：失敗コスト）を関係者で共有し、不具合の深刻度を数字化（見える化）することにより、不具合発生抑止の感度を高める効果があることなどについて御説明いただき、すべてのモノづくりに共通する貴重な発表をいただきました。



【高橋様】

● 演題3

全薬工業株式会社栃木工場の清水大祐様から、「工場における災害対策の取り組み事例」と題して発表がありました。医薬品製造の安定稼動の継続を脅かす災害のうち、特に震災に係る同社の対策コンセプトや具体的な取組みについて御紹介いただきました。同社工場では、東日本大震災発生前から、従業員の安全確保や安定稼動の継続のための様々な取組みを行っていたこともあり、大震災においても工場の操業に影響する大きな被害もなく、負傷者もゼロであったことから、震災3日後には工場の一部稼動を再開できたことなどをお話しいただきました。また、震災での教訓を踏まえ、対策コンセプトにさらに製品品質の確保を加え、一層の取組み強化を図られたことについても御説明いただき、製造業者には必須事項と言える貴重な発表をいただきました。



【清水様】

● 演題4

栃木県保健福祉部薬務課の鈴木隆仁主査から、「平成25・26年度のGMP/QMS適合性調査結果等について」と題して発表があり、GMP/QMS調査、GMP施行通知の対応状況、製品品質照査、参考品・保存品等についての説明がありました。GMP/QMS調査では、適合性評価の基準や調査における具体的な指導事例についての報告がありました。GMP施行通知の改正等では、平成25年8月30日付け薬食監麻発0830第1号「医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準に関する省令の取扱いについて」(施行通知)により改正された事項等について説明がありました。その他、製品品質照査の必要性や方法、参考品・保存品の取扱いについての説明がありました。



【鈴木主査】

演者の皆様、大変お忙しい日常業務の合間を縫って、日頃の成果をまとめていただきまして、本当にありがとうございました。

■新年賀詞交歓会

栃木県GMP関連研修会の終了後、ホテル東日本宇都宮にて恒例の新年賀詞交歓会が開催されました。(出席者85名) 富永副会長の司会で開会となり、松谷会長の挨拶の後、来賓紹介があり、御来賓を代表して、栃木県保健福祉部の名越部長様に御祝辞を頂戴しました。小野塚副会長の乾杯により賀詞交歓会に移り、和やかな雰囲気の中で交流を深め、阿部副会長の中締めで賀詞交歓会はお開きとなりました。会員相互の情報交換と親睦が図られ、とても有意義な賀詞交歓会でした。



【名越部長様祝辞】

